

今、サウジアラビアにいる。山川達郎先生とともに“4th annual general surgery symposium”に招かれ参加した。私は甲状腺に関する3つの講演とライブ手術の司会が仕事である。他に本学の消化器外科から膵内視鏡手術の講演で中村慶春、大腸肛門外科の内視鏡手術の講演で松本智司、乳腺科より乳腺内視鏡手術の講演で山下浩二が招かれ参加した。それぞれが高度で洗練された技術の発表を行い高い評価を得た。

私にとって、サウジは二度目の訪問だが、ここは別世界だ。アルコールのない世界である。また女性とは話してはいけない。ましてや写真など撮ろうものならカメラごとに取り上げられそうである。というより周囲に女性がいなくて、男女ははっきりと行動が分かれている。学会場も男女の入り口は別で、会場の席も完全に女性は隔離されている。顔は黒のベールに覆われ目だけが露出されているか、それすらも覆われており誰が誰だかわからない。この規律を理解するのは難しく、説明するには多くの紙面を必要とするため省略するが、戒律の厳しいイスラム教の世界で行われたシンポジウムであった。税金がなく、教育費、医療費はタダであり、医師のサラリーは高額といわれるこの国では、どのようにして医療発展、自らの技術向上のためのモチベーションを持ち続けるのか興味のあるところであった。

山川達郎先生とロボティック手術の司会をした。手術はダビンチを使った内視鏡下鼠径ヘルニア根治術で、そのほかに食道裂孔ヘルニアに起因するGERDに対する内視鏡下Nissen手術、手掌多汗症に対する交感神経切断術などが行われた。驚いたことにここ(King Saud University Hospital)ではダビンチをもう一台購入するので、今日使っているダビンチは動物を使ったロボット手術のトレーニング用に使用されることになるらしい。手術に対する山川先生の評価は「手術自体、術式はまだまだ発展の余地があるが、ひとつひとつの技術は評価すべきものがある」とのことだ。また、学会は朝早くから夕方6時近くまでランチョンを含めてシンポジウムがぶっ続けで2日間行われ、最後の1日に4件のライブ手術が行われた。ディスカッションも大変活発であり、知識欲も強くわれわれの発表にも興味を持ち沢山の質問を投げかけてくる。その姿勢には強い熱意と向上心を感じた。若い医師の向上心はさらに強く、かつ友好的でどんなことでもざっくばらんに話しかけ、質問してくる。

アラウの神を信じ、崇拝し、アルコールのない世界で、勤勉であり、ひとつのことに打ち込もうとする真摯な態度にはいまさらながら見習うべきところが多い。経済的に裏づけされたこの国の医師たちの熱意は近い将来大きく花開き、きっと内視鏡手術の分野で台頭してくるものと思う。

帰国の日、年に1~2度しかないというsand stormに遭遇した。風で巻き上げられた砂が霧のように舞い一寸先が見えない。ホテル内もぼやけている。ホテルの中で皆マスクをしているのが異様であった。この国は1年中ほとんど雨のない国であり、灼熱の気候で自然環境は決してよいとはいえないが、首都リヤドに住む200万人が生活するのに必要な水を600km離れた海から吸い上げ蒸留し供給している。このとてもないエネルギーにみられるように、内視鏡外科の世界でもきっと近い将来目覚ましい発展を遂げるに違いない。

(清水一雄)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第14巻 第2号) 2009年4月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価2,940円(本体2,800円+税5%)となります。

2009年 年々めめ予約購読料: 17,160円(税込)(配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会(代表: 北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当: 佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2009, Printed in Japan

発売: 株医学書院(代表: 金原 優)(本誌担当: 阿部, 田村, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/><http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 (振替口座00170-9-96693番)

本誌編集室直通 ☎03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (有文京メディカル ☎03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

●原著

当院における腹腔鏡下虫垂切除術—300 例の検討 ……………北上英彦・他 北見赤十字病院外科
本学における内視鏡外科手術トレーニングシステムおよび

資格制度の導入 ……………衛藤 謙・他 東京慈恵会医科大学外科学講座

●症例報告

食道胃接合部近傍の胃粘膜下腫瘍に対して transgastric approach による

腹腔鏡下胃局所切除術を施行した 1 例 ……………大井正貴・他 三重大学消化管小児外科

腹腔鏡下手術にて回収しえた誤飲 5 年後の小腸内異物（義歯）の 1 例

……………高木 剛・他 西陣病院外科

腹腔鏡下切除を施行した悪性リンパ腫に起因した腸重積症の 1 例

……………藤原英利・他 三田市民病院外科

ポートから腹腔鏡視野を想定した 3 D-CT 血管画像が有用であった

腹腔鏡下 S 状結腸・前方切除を施行した 3 例 ……………根上直樹・他 済生会川口総合病院外科

腹腔鏡下手術を施行した両側閉鎖孔ヘルニアの 1 例 ……………松本壮平・他 奈良県立医大消化器・総合外科

ポートサイト再発をきたした胃 GIST の 1 例 ……………山本 寛・他 滋賀医科大学消化器外科

回盲部子宮内膜症による回腸狭窄に対し腹腔鏡補助下手術が有用であった 1 例

……………宮倉安幸・他 自治医科大学消化器一般外科

腹腔鏡下に切除した縦隔副甲状腺嚢腫の 1 例 ……………尾高 真・他 東京慈恵会医科大学呼吸器外科

上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症（SMA 症候群）に対し

腹腔鏡下十二指腸・空腸吻合術を施行した 2 例 ……………福澤宏明・他 静岡県立こども病院外科

腹腔鏡下胃固定術を施行した成人胃軸捻症の 1 例 ……………伊藤博道・他 茨城西南医療センター病院外科

他に「手術手技」「私の工夫」を掲載予定